

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公開番号】特開2006-166193(P2006-166193A)

【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2004-356438(P2004-356438)

【国際特許分類】

H 04 N 5/76 (2006.01)

G 06 F 17/30 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/76 B

G 06 F 17/30 3 3 0 C

G 06 F 17/30 3 4 0 A

H 04 N 5/225 F

H 04 N 5/91 J

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月26日(2007.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像手段と、

この撮像手段で撮像された電子的な画像信号を画像ファイルに変換する変換手段と、
この変換手段によって変換された画像ファイルをこの画像ファイルの撮影日時と対応付
けて記憶する記憶手段と、

特定の人のプロファイルを保持する保持手段と、

前記特定の人の名前と暦又は暦を特定するための情報とをキーワードとして入力する入
力手段と、

この入力手段によって入力されたキーワードに基づいて前記保持手段に保持されている
プロファイルから前記特定の人の生年月日を読み出し、その生年月日と前記暦又は暦を特
定するための情報とから検索期間を計算する計算手段と、

この計算手段によって計算された検索期間内に前記記憶手段に記憶されている画像ファ
イルをこれら画像ファイルに対応付けられた撮影日時にに基づいて検索する検索手段と、

この検索手段の検索結果を表示する表示手段と

を備えたことを特徴とする電子カメラ。

【請求項2】

前記暦又は暦を特定するための情報は、前記生年月日を基準にした、前記特定の人の年
齢であることを特徴とする請求項1記載の電子カメラ。

【請求項3】

前記暦又は暦を特定するための情報は、前記生年月日を基準にした、前記特定の人の学

年又は入学年や卒業年若しくはそれらに相当する節目の年であることを特徴とする請求項1記載の電子カメラ。

【請求項4】

前記暦又は暦を特定するための情報は、前記生年月日を基準にした、前記特定の人に関する季節毎の行事であることを特徴とする請求項1記載の電子カメラ。

【請求項5】

前記画像ファイルは、静止画又は動画の画像ファイル若しくは音声情報を含む静止画又は動画の画像ファイルであることを特徴とする請求項1乃至請求項4いずれかに記載の電子カメラ。

【請求項6】

電子カメラが備えるコンピュータを、
撮像された画像信号から変換された画像ファイルをこの画像ファイルの撮影日時と対応付けて記憶部に記憶させる記憶制御手段、

入力部から特定の人の名前と暦又は暦を特定するための情報とがキーワードとして入力されたか否かを判定する判定手段、

この判定手段によって、前記キーワードが入力されたと判定すると、入力されたキーワードに基づいて、保持部に予め保持されている特定の人のプロファイルから前記特定の人の生年月日を読み出し、その生年月日と前記暦又は暦を特定するための情報とから検索期間を計算する計算手段、

この計算手段によって計算された検索期間内に前記記憶部に記憶された画像ファイルをこれら画像ファイルに対応付けられた撮影日時に基づいて検索する検索手段、

この検索手段の検索結果を表示部に表示させる表示制御手段
として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電子カメラ、及び、プログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、大容量の記憶デバイスに大量の画像ファイル等を保存できる電子カメラ、及び、プログラムに関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そこで、本発明は、以上の事情に鑑みてなされたものであり、画像ファイルの検索に際し、格段に少ない労力で所望の画像ファイルを見つけることができる電子カメラ、及び、プログラムを提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0010】**

請求項1記載の発明は、撮像手段と、この撮像手段で撮像された電子的な画像信号を画像ファイルに変換する変換手段と、この変換手段によって変換された画像ファイルをこの画像ファイルの撮影日時と対応付けて記憶する記憶手段と、特定の人のプロファイルを保持する保持手段と、前記特定の人の名前と暦又は暦を特定するための情報をキーワードとして入力する入力手段と、この入力手段によって入力されたキーワードに基づいて前記保持手段に保持されているプロファイルから前記特定の人の生年月日を読み出し、その生年月日と前記暦又は暦を特定するための情報をから検索期間を計算する計算手段と、この計算手段によって計算された検索期間内に前記記憶手段に記憶されている画像ファイルをこれら画像ファイルに対応付けられた撮影日時に基づいて検索する検索手段と、この検索手段の検索結果を表示する表示手段とを備えたことを特徴とする。

請求項2記載の発明は、上記請求項1記載の発明において、前記暦又は暦を特定するための情報は、前記生年月日を基準にした、前記特定の人の年齢であることを特徴とする。

請求項3記載の発明は、上記請求項1記載の発明において、前記暦又は暦を特定するための情報は、前記生年月日を基準にした、前記特定の人の学年又は入学年や卒業年若しくはそれらに相当する節目の年であることを特徴とする。

請求項4記載の発明は、上記請求項1記載の発明において、前記暦又は暦を特定するための情報は、前記生年月日を基準にした、前記特定の人に関する季節毎の行事であることを特徴とする。

請求項5記載の発明は、上記請求項1乃至請求項4いずれかの発明において、前記画像ファイルは、静止画又は動画の画像ファイル若しくは音声情報を含む静止画又は動画の画像ファイルであることを特徴とする。

請求項6記載の発明は、電子カメラが備えるコンピュータを、撮像された画像信号から変換された画像ファイルをこの画像ファイルの撮影日時と対応付けて記憶部に記憶させる記憶制御手段、入力部から特定の人の名前と暦又は暦を特定するための情報とがキーワードとして入力されたか否かを判定する判定手段、この判定手段によって、前記キーワードが入力されたと判定すると、入力されたキーワードに基づいて、保持部に予め保持されている特定の人のプロファイルから前記特定の人の生年月日を読み出し、その生年月日と前記暦又は暦を特定するための情報をから検索期間を計算する計算手段、この計算手段によって計算された検索期間内に前記記憶部に記憶された画像ファイルをこれら画像ファイルに対応付けられた撮影日時に基づいて検索する検索手段、この検索手段の検索結果を表示部に表示させる表示制御手段として機能させることを特徴とする。

【手続補正6】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0011****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0011】**

本発明によれば、撮影日時を思い出せない場合であっても、手軽に大量の画像ファイルの絞り込みを行なうことができ、必要な画像ファイルの検索効率を格段に向上できる。